cpl.thalesgroup.com

THALES
Building a future we can all trust

SafeNet eToken Fusionシリーズを選ぶべき理由トップ5

あらゆるデバイス向け耐フィッシングFIDO2およびPKI認証

FIDO認証はユーザーのログイン体験を容易にし、パスワードの脆弱性を克服するという利点があるため、MFAの最新形態として支持を集めています。
しかし、多くの企業は、電子署名やEメールの暗号化などのユースケース向けに公開鍵基盤（PKI）への多額の投資を行っており、FIDOがこれに取って代わることは不可能です。ここでは、SafeNet eToken Fusionセキュリティキーを検討すべき5つの理由をご紹介します。

SafeNet eToken FusionシリーズはFIDO2とPKIを1つの認証システムに統合したUSBトークンです

fido CERTIFIED

COMMON CRITERIA CERTIFIED EAL 5+

01 フィッシング攻撃を防止

非対称公開鍵暗号化と所持情報ベースの認証に依存するFIDO2およびPKI証明書ベース認証（CBA）は、フィッシング攻撃や中間者攻撃（MiTM）からの保護を可能にする耐フィッシング認証テクノロジーです。

02 PKIとFIDOのメリットを1つに融合

SafeNet eToken Fusionシリーズを使用することで、レガシーコンピューティングリソースのCBA、デジタル署名、ファイル暗号化といったPKIのユースケースを維持しながら、FIDO認証を導入して最新のアプリケーションやWindowsデスクトップに安全かつ簡単にアクセスすることができます。

03 モバイルデバイスやノートパソコンなどあらゆるデバイスに導入可能

SafeNet eToken Fusion USB-CおよびUSB-Aは、あらゆるノートパソコンやモバイルデバイスに対応しています。エンドユーザーは、機密性の高いリソースにどこからでも安全にアクセスできます。

04 ユーザーとIT部門の労力を軽減

PKIとFIDO2はパスワード不要の認証方法であり、ユーザーはパスワードを覚えておく必要がないため、ヘルプデスクにかかるコストの削減につながります。1つの認証システムを使用して多くの認証を行うことができます。FIDO2はオープン標準であるため、SafeNet eToken FusionはFIDO2をサポートするあらゆるIAMプラットフォームと互換性があります。

05 対象市場の規制に準拠

SafeNet eToken Fusionシリーズは FIDO2認証を取得しており、コモンクライテリア、eIDAS規則、フランスのANSSIに準拠しています。非常に厳格な規制要件への準拠も実現します。

ANSSI
COMMON CRITERIA CERTIFIED EAL 5+

> cpl.thalesgroup.com <

お問い合わせ – 全オフィスの所在地と連絡先については cpl.thalesgroup.com/contact-us をご覧